

2017年慶應義塾大学文学部 英語

I	D
II	彼女や他の研究者は、電子機器の刺激による誘惑を不可欠であるが過剰な摂取だと逆（負）の効果をもたらす薬物やアルコールよりも食欲や性欲になぞらえている。
III	キャンベル氏や彼の家族の習慣や苦しみは、もしこの傾向が続けば、多くの人が現在経験し、またより多くの人が今後経験するであろうことを代表している。
IV	b
V	電子機器への欲に駆り立てられること。(19字)
VI	② ③ ①
VII	スタンフォード大のナス氏は、テクノロジーへの過剰依存による究極的なリスクは、同じ部屋にいたとしても、その依存が他者との関わり度合いを制限することによって、人々の共感を失わせてしまうことである、と考える。
VIII	マルチタスキングがもたらす負の面は、関係ない情報に焦点が合わさるようになり、マルチタスキング中関係なく慢性的に集中力が低下するようになり、とてつもないプレッシャーを脳にかけるようになり、ストレスを余計に感じるようになる。
IX	Ancient people had a difficulty in understanding different cultures, but we are in the same situation, who have modern technology of communication.